## 精神•神経疾患研究開発費

筋 ジ ス ト ロ フ ィ ー モ デ ル 動 物 を 用 い た 新 た な 治 療 法 の 開 発

# 平成26年度 研究班会議プログラム

主任研究者 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 武 田 伸 一

日 時 平成 26 年 12 月 3 日(水) 9:50~17:40 平成 26 年 12 月 4 日(木) 9:00~16:15

会場 JA共済ビル カンファレンス・ホール(1階) 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 TEL 03-3265-8716 http://www.jankb.co.jp/conference-access.htm

- ◆ 開演 30 分前より受け付けを開始します。各セッション開始予定時刻の 30 分前までに 試写の上、データをスライド受付係にご提出下さい。なお、プロジェクターは液晶のみです。
- ◆ 口演 10分、討論 5分でお願いします。(時間厳守)
- ◆ 4日11時35分より班員会議を行います。(場所: JA 共済ビルカンファレンス・ホール) 班員または代理の方は必ずご出席下さい。昼食をご用意しております。

### 第1日目 平成26年12月3日(水)

開会の挨拶 9:50~10:00 主任研究者 武田 伸一

Session I エクソン・スキッピング

10:00~11:00 座 長 関根 光雄

- 1. 化学修飾人工核酸を用いる新しい筋ジストロフィー治療薬の開発 ーチオカルボニル修飾アンチセンス核酸によるエキソンスキッピング効果の向上ー
  - 〇関根 光雄 $^1$ , 正木 慶昭 $^1$ , 印出 健志 $^1$ , 山本 恵士 $^1$ , 石井 陽大 $^1$ , 岡庭 夏己 $^1$ , 山田 剛史 $^1$ , 永田 哲也 $^2$ , 谷端  $淳^2$ , 金森 功吏 $^3$ , 大窪 章寬 $^1$ , 清尾 康志 $^1$ , 武田 伸一 $^2$

(1東京工業大学大学院 生命理工学研究科, 2国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, 3東京工業大学 情報生命博士教育院)

- 2. DMD 遺伝子ホットスポットにおける稀少スプライシング産物の解析
  - 〇鈴木 仁<sup>1,2</sup>, 亀山 俊樹<sup>3</sup>, 齊藤 崇<sup>4</sup>, 増田 智<sup>4</sup>, 永田 哲也<sup>4</sup>, 前田 明<sup>3</sup>, 武田 伸一<sup>4</sup>, 塚原 俊文<sup>2</sup> (<sup>1</sup>北陸先端科学技術大学院大学 ナノマテリアルテクノロジーセンター, <sup>2</sup>北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科, <sup>3</sup>藤田保健衛生大学 総合医科学研究所, <sup>4</sup>国立精神・神経医療研究セン ター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)
- 3. 高性能スプライシング解析系の確立と新しい DMD 治療法の確立 ージストロフィンスプライシング産物の多様性ー
  - 〇松尾 雅文, 西田 篤史, Niba Tabe Emma Eko (神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)
- 4. 高性能スプライシング解析系の確立と新しい DMD 治療法の確立 -エクソンスキッピング誘導薬の多エクソン同時スクリーニングシステムの確立 -

松尾 雅文, 〇西田 篤史

(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)

\*\*\*\*\*\* 休 憩 11:00~11:10 \*\*\*\*\*\*

Session Ⅱ エクソン・スキッピングの臨床応用に向けて 11:10~11:55 座 長 横田 俊文

5. 新規予測ツールを用いた DMD エクソン 51 に対するモルフォリノ配列の再検討 【招待発表者】 〇横田 俊文<sup>1</sup>, 越後谷 裕介<sup>1</sup>, Bo Bao<sup>1</sup>, Francesco Muntoni<sup>2</sup>, Vincent Mouly<sup>3</sup>, William Duddy<sup>3</sup>, 武田 伸一<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>Department of Medical Genetics, University of Alberta Faculty of Medicine and Dentistry, <sup>2</sup>Institute of Child Health, University College London, <sup>3</sup>Institut de Myologie, University of Paris 6, <sup>4</sup>国立精神・神経医療研究 センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

6. Duchenne 型筋ジストロフィーに対するエクソン 53 スキップによる早期探索的臨床試験

武田 伸一<sup>1,2</sup>, 〇齊藤 崇<sup>1</sup>, 永田 哲也<sup>1</sup>, 増田 智<sup>1</sup>, 鈴木 麻衣子<sup>2</sup>, 中村 治雅<sup>2</sup>, 小牧 宏文<sup>3</sup> (国立精神・神経医療研究センター <sup>1</sup>神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, <sup>2</sup>トランスレーショナル・メディカルセンター, <sup>3</sup>病院 小児神経科)

- 7. 遺伝子医療とピアカウンセラーの役割
  - -遺伝子医療における患者・家族の意識調査とピアカウンセラー育成講座-

貝谷 久宣<sup>1</sup>, 〇井原 千琴<sup>1</sup>, 野口 恭子<sup>2</sup>

(1社団法人日本筋ジストロフィー協会、2医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック)

\*\*\*\*\*\*\* 休 憩 11:55~13:15 \*\*\*\*\*\*

Session Ⅲ 遺伝性疾患の病態

13:15~14:15 座 長 武田 伸一

8. 肢帯型筋ジストロフィーの責任遺伝子産物カルパイン 3 のユニークな分子間相補による活性回復【招待発表者】

小野 弥子¹, 進藤 真由美², 土井 奈穂子¹, 北村 ふじ子¹, Carol C. Gregorio³, 〇反町 洋之¹ (¹公益財団法人東京都医学総合研究所 生体分子先端研究分野カルパインプロジェクト, ²公益財団法人東京都医学総合研究所 基盤技術研究センター研究技術開発室, ³Cellular and Molecular Medicine and Sarver Molecular Cardiovascular Research Program, The University of Arizona)

9. NMJ 形成シグナルとその制御

【招待発表者】

【招待発表者】

〇山梨 裕司

(東京大学医科学研究所 腫瘍抑制分野)

10. 進行性骨化性線維異形成症(FOP)における BMP シグナルの活性化機序 藤本 舞, 大手 聡, 塚本 翔, 水田 誉人, 宮本 阿礼, 大澤 賢次, 〇片桐 岳信

(埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 病態生理部門)

\*\*\*\*\*\* 休 憩 14:15~14:25 \*\*\*\*\*

Session IV 筋ジストロフィーの病態

14:25~15:10 座長 野口悟

11. 遺伝性筋疾患の分子病態の解明ならびに治療法開発

ーモデルマウスを用いた VI 型コラーゲン欠損ミオパチーの病態解析-

〇野口 悟, 小川 恵, 西川 敦子, 西野 一三

(国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部)

12. Exon45-55 を欠失した短縮型ジストロフィンは nNOS の局在を変化させ RyR1 を二トロシル化し、 細胞内 Ca<sup>2+</sup>濃度を上昇させる

武田 伸一1, 〇谷端 淳1, 永田 哲也1,2, 齊藤 崇1, 伊藤 尚基1, 青木 吉嗣3, 中村 昭則4

(<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, <sup>2</sup>東京医科歯科大学 脳神経 病態学分野, <sup>3</sup>Department of Physiology, Anatomy and Genetics, University of Oxford, <sup>4</sup>信州大学医学部 附属病院 難病診療センター)

- 13. Duchenne 型筋ジストロフィーモデルマウスの行動とシナプス関連タンパク質発現:mdx マウスと mdx52 マウスの比較 【招待発表者】
  - 〇関口 正幸1、小田桐 沙織1、永田 哲也2、武田 伸一2

(<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

\* \* \* \* \* \* \* \* コーヒーブレイク 15:10~15:30 \* \* \* \* \* \* \*

Session V microRNA·筋生物学

15:30~16:45 座長 田中 廣壽

14. 血清 microRNA およびエクソソームマーカータンパクによる筋ジストロフィー新規診断法の確立と 治療への応用

橋戸 和夫1, 〇松坂 恭成1, 谷端 淳2, 小牧 宏文3, 大矢 寧4, 武田 伸一2

(<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 RI 管理室, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, <sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター 病院 小児神経科, <sup>4</sup>国立精神・神経 医療研究センター 病院 神経内科)

15. microRNA を用いた筋ジストロフィー治療の基盤研究

【招待発表者】

- 〇本橋 紀夫<sup>1</sup>, Matthew S Alexander<sup>2</sup>, 本橋 裕子<sup>2</sup>, Jennifer A Myers<sup>2</sup>, 川原 玄理<sup>2</sup>, Lois M Kunkel<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター研究所 老年病態研究チーム 運動器医学, <sup>2</sup>ハーバード大学医学部 ボストン小児病院)
- 16. 機能性 RNA による骨格筋細胞の分化制御

【研究協力者】

- 二川 健<sup>1</sup>, 〇近藤 茂忠<sup>1</sup>, 永野 ひかる<sup>2</sup>, 内田 貴之<sup>1</sup>, 真板 綾子<sup>1</sup>, 安倍 知己<sup>1</sup>, 平坂 勝也<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>徳島大学大学院へルスバイオサイエンス研究部 生体栄養学分野, <sup>2</sup>相模女子大学栄養科学部 栄養 科学研究科, 分子栄養学研究室, <sup>3</sup>長崎大学水産学部 海洋物質科学講座)
- 17. ユビキチンリガーゼ <u>Cbl</u>-b 阻害ペプチド(Cblin: <u>Cbl</u>-b <u>in</u>hibitory peptide)による廃用性筋萎縮 治療の試み

〇二川 健<sup>1</sup>, 越智 ありさ<sup>1</sup>, 真板 綾子<sup>1</sup>, 安倍 知己<sup>1</sup>, 内田 貴之<sup>1</sup>, 平坂 勝也<sup>1,2</sup>, 川合 暢彦<sup>3</sup>, 田中 栄二<sup>3</sup>, 赤間 一仁<sup>4</sup>, 近藤 茂忠<sup>1</sup>, 武田 伸一<sup>5</sup>

(<sup>1</sup>徳島大学大学院へルスバイオサイエンス研究部 生体栄養学分野, <sup>2</sup>長崎大学水産学部 海洋物質科 学講座, <sup>3</sup>徳島大学大学院へルスバイオサイエンス研究部 再生修復医歯学部門, <sup>4</sup>島根大学 生物資 源科学部 生物資源科, <sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター)

#### 18. 骨格筋量制御の分子機構解明

- -生体のエネルギーフロー調節における骨格筋の役割-
- 〇田中 廣壽<sup>1</sup>, 清水 宣明<sup>1</sup>, 丸山 崇子<sup>1</sup>, 松宮 遼<sup>1</sup>, 吉川 賢忠<sup>1</sup>, 伊藤 尚基<sup>2</sup>, Stefan Berger<sup>3</sup>, Gunther Schuetz<sup>3</sup>, 武田 伸一<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東京大学医科学研究所附属病院 抗体・ワクチンセンター免疫病治療学分野、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部、<sup>3</sup>German Cancer Research Center)

Session VI 筋ジストロフィーモデル動物

16:55~17:40 座 長 裏出 良博

- 19. 筋ジストロフィー関連モデル動物の生産供給システムの検討 -筋ジストロフィー関連モデル動物の品質管理について-
  - 〇保田 昌彦, 小倉 智幸, 水澤 卓馬, 何 裕遥, 高橋 利一 (公益財団法人実験動物中央研究所)
- 20. ゲノム編集を用いた筋ジストロフィーモデルラットの作出

【招待発表者】

中村 克行1, 〇山内 啓太郎1, 藤井 渉2, 寺本 奈保美1, 谷端 淳3, 西原 真杉1

(1東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医生理学教室,2東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用遺伝学教室,3国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

21. デュシェンヌ型筋ジストロフィー・イヌモデル CXMD」を用いた血清オステオポンチンの解析

武田 伸一1,2, 〇倉岡 睦季1, 木村 円1,2, 永田 哲也1,3, 岡田 尚巳1,4, 今村 道博1

(<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター, <sup>3</sup>東京医科歯科大学 脳神経病態学分野, <sup>4</sup>日本医科大学医学部 生化学・分子生物学(分子遺伝学)講座)

\* \* \* \* \* \* \* \* \* 懇親会 18:00~20:00 \* \* \* \* \* \* \* \*

### 第2日目 平成26年12月4日(木)

Session W 遺伝子治療·薬物治療

9:00~10:15 座 長 岩田 裕子

- 22. 変異ジストロフィン遺伝子エキソンスキップ誘導法の機序の解明
  - 化合物によるスキップ誘導配列のルール解読の試みー
  - 〇萩原 正敏, 大江 賢治, 二宮 賢介, 飯田 慶, 片岡 直行 (京都大学大学院 医学研究科 形態形成機構学講座)
- 23. 各種 AAV ベクターによる遺伝子治療に向けた基礎研究 ートランスレーショナルリサーチに向けて考慮すべきポイントー

【招待発表者】

〇水上 浩明, 卜部 匡司

(自治医科大学 分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部)

- 24. 液性因子による変性骨格筋の再生療法の開発
  - -DMD モデルマウス mdx における顆粒球コロニー刺激因子の作用解明-

福田 惠一1, 〇林地 のぞみ2, 湯浅 慎介1, 伊藤 尚基3, 鈴木 友子3, 武田 伸一3

(1) 慶應義塾大学 医学部 循環器内科, 2) 慶應義塾大学大学院 医学研究科 循環器内科, 3国立精神・ 神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

- 25. ストレッチ感受性チャネルを標的とした筋ジストロフィー治療法の開発
  - -TRPV2を標的にした薬物効果の検討-
  - 〇岩田 裕子. 大武 仁美

(国立循環器病研究センター 分子生理部)

- 26. 筋ジストロフィー病態の進行軽減療法の開発
  - 〇裏出 良博, 有竹 浩介, 永田 奈々恵 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構)

コーヒーブレイク 10:15~10:35

Session W Special Session

10:35~11:35 座 長 武田 伸一

27. 骨格筋幹細胞の自己複製の分子機構と血管ニッチを利用した筋ジストロフィー治療

【招待発表者】

〇朝倉 淳

(ミネソタ大学医学部・幹細胞研究所・ポール&シェイラ・ウェルストーン・筋ジストロフィーセンター)

#### 28. マイクロ加工技術を用いた骨格筋線維束の3次元培養

【招待発表者】

○森本 雄矢, 尾上 弘晃, 竹内 昌治 (東京大学生産技術研究所 ERATO 竹内バイオ融合プロジェクト)

\*\*\*\*\* 班員会議 JA 共済ビル カンファレンス・ホール 11:35~13:00 \*\*\*\*\*

Session IX 骨格筋幹細胞と筋再生

13:00~13:45 座 長 深田 宗一郎

- 29. 骨格筋再生メカニズムに基づいた移植細胞創成技術の開発
  - -筋幹細胞維持・再生機構の移植技術への応用-
  - 〇深田 宗一朗 $^1$ , Ma Yuran $^1$ , 大谷 拓史 $^1$ , 村上 聡 $^1$ , 中村 美紀 $^1$ , 上住 聡芳 $^2$ , 鈴木 友子 $^3$  武田 伸 $^3$

(1大阪大学大学院 薬学研究科 細胞生理学分野,2藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 難病治療学,3国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)

- 30. 筋ジストロフィー治療法開発に資する筋ジストロフィー由来ヒト筋細胞解析系の確立 ーヒトおよびマウス筋前駆細胞の増殖特性:モデルマウスの結果をヒトに外挿するための細胞レベルの研究基盤-
  - 〇橋本 有弘, 倉谷 麻依, 塩見 浩介 (国立長寿医療研究センター)
- 31. スフィンゴ脂質による筋サテライト細胞活性化の制御機構に関する研究

【招待発表者】

〇長田 洋輔, 大橋 和也, 松田 良一 (東京大学大学院 総合文化研究科)

Session X 幹細胞と再生医療

14:05~15:05 座 長 梅澤 明弘

#### 32. 骨格筋に内在する間葉系前駆細胞の役割

【招待発表者】

- ○上住 聡芳¹、深田 宗一朗²、上住 円³、山本 直樹⁴、武田 伸一⁵、土田 邦博¹
- (<sup>1</sup>藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 難病治療学, <sup>2</sup>大阪大学大学院 薬学研究科 細胞生理学分野, <sup>3</sup>国立長寿医療研究センター 再生再建医学研究部, <sup>4</sup>藤田保健衛生大学 共同利用研究施設, <sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部)
- 33. 骨髄間葉系間質細胞が筋衛星細胞に与える影響の解明

【招待発表者】

〇米持 康寛, 中城 雄輝, 前田 寧, 田中 一仁, 安東 由喜雄 (熊本大学医学部附属病院 神経内科)

#### 34. 骨髄間質細胞を用いた DMD に対する細胞移植治療法の検討

武田 伸一 $^{1,2}$ , 〇笠原 優子 $^{1,2}$ , 喜納 裕美 $^{1,2}$ , 倉岡 睦季 $^{1}$ , 増田 千明 $^{1}$ , 積田 奈 $^{1}$ , 千代 智子 $^{1}$ , 岡田 浩典 $^{1,2}$ , 梅澤 明弘 $^{3}$ , 立花 克彦 $^{4}$ , 今川 究 $^{4}$ , 岡田 尚巳 $^{1,2}$ 

(<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部, <sup>2</sup>日本医科大学 生化学・分子生物学(分子遺伝学), <sup>3</sup>国立成育医療研究センター 再生医療センター, <sup>4</sup>JCR ファーマ株式会社)

- 35. 筋ジストロフィーに対する細胞移植の臨床研究推進に向けた大動物の疾患モデル作製と SOP 構築のための基礎研究
  - 〇梅澤 明弘

(国立成育医療研究センター 再生医療センター)

Session XI iPS 細胞と再生医療

15:15~16:15 座 長 平家 俊男

#### 36. 骨格筋前駆 EZ スフィアの多分化能と心不全治療への応用の可能性

【招待発表者】

〇細山 徹<sup>1</sup>, 佐村 誠<sup>1</sup>, 工藤 智明<sup>1</sup>, 鈴木 正寿<sup>2</sup>, 濱野 公一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>山口大学大学院 医学系研究科 器官病態外科学, <sup>2</sup>ウィスコンシン大学マディソン校)

#### 37. ゲノム編集技術を用いたDMD患者由来iPS細胞での遺伝子治療

【招待発表者】

李 紅梅<sup>1</sup>, 渡辺 亮<sup>1</sup>, 櫻井 英俊<sup>1</sup>, 山本 卓<sup>2</sup>, 山中 伸也<sup>1,3,4</sup>, 〇堀田 秋津<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>京都大学 iPS 細胞研究所、<sup>2</sup>広島大学 理学研究科、<sup>3</sup>iCeMS、<sup>4</sup>グラッドストーン研究所)

- 38. 患者由来 iPS 細胞を活用した筋ジストロフィーに対する新規治療薬開発 ー再生医療を目指したアプローチー
  - 〇櫻井 英俊<sup>1</sup>, 高山 了<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>京都大学 iPS 細胞研究所, <sup>2</sup>旭化成株式会社)

39. 多能性幹細胞を用いた筋ジストロフィーに対する新規治療開発

平家 俊男, 〇粟屋 智就, 馬場 志郎, 平田 拓也, 鶴見 文俊, 吉田 健司, 加藤 竹雄 (京都大学大学院 医学研究科)

閉会の挨拶 16:15 主任研究者 武田 伸一

\* \* \* \* \* \* \* \* M E M O \* \* \* \* \* \* \*

# 交通機関と所要時間

- 電車でお越しの場合
  - ・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線、「永田町駅」4番出口より徒歩2分
  - ・東京メトロ 有楽町線、「麹町駅」半蔵門方面 1番出口より徒歩 4分
- 都バスでお越しの場合
  - ・「平河町二丁目」下車(新橋駅~市ヶ谷駅~小滝橋車庫前)
- お車でお越しの場合
  - •首都高速、霞ヶ関出口より5分

